

金継ぎをした文房具

田上 早百合

注ぎ口の欠けた「水滴」、割れた「墨床」、穴窯焼成の「印盒」を、金継ぎによって繕いました。

近年、自作の陶芸作品の修復の必要に迫られ、蒔絵師 杉村聡先生に師事して、金継ぎに挑戦中です。本漆を用いた本格的な繕いは、私には不向きな手間のかかる作業ですが、仕上がりは楽しみです。